

平成28年5月12日

各位

 株式会社 北海道銀行  
 道銀カード 株式会社  
 株式会社 岩手銀行  
 株式会社 近畿日本ツーリスト北海道  
 国土交通省 北海道運輸局

### 台湾からの個人旅行者（FIT）をターゲットとしたメディア招聘事業の実施について

株式会社北海道銀行、道銀カード株式会社、株式会社岩手銀行、株式会社近畿日本ツーリスト北海道、株式会社北海道エアシステム、北海道国際輸送プラットホーム推進協議会（以下「HOP推進協議会」）、一般社団法人シーニックバイウエイ支援センター、北海道地区「道の駅」連絡会、東日本高速道路株式会社北海道支社（以下「NEXCO東日本北海道支社」）は、台湾からの個人旅行者（FIT～Foreign Independent Traveler）の増加を目的として、パワープロガー（温世凱氏）・ケーブルテレビスタッフ（東森電視公司）を視察に招聘し、各種サービスの紹介、新たな広域ルートの開拓や地域の魅力ある情報を発信しますことをお知らせいたします。

#### 記

1. 視察日程 平成28年5月14日（土）～20日（金）

2. 視察内容（行程表は別添のとおり）

	行 程	提 案 内 容
1	岩手県花巻市～北海道釧路市	北海道東北広域連携
2	新青森駅～新函館北斗駅	北海道新幹線の利用
3	長沼町	民泊、グリーンツーリズムの推進
4	苫小牧西IC～新千歳空港IC	高速道路利用による2次交通の提案
5	釧路川カヌー体験	体験観光の推進
6	釧路空港～丘珠空港	北海道エアシステム利用による2次交通の提案
7	サッポロドラッグストア、ヤマダ電機、その他	「台湾 SmartPay」利用による決済手段の提案

#### （1）台湾 SmartPay デビットサービス

道銀カードと台湾における中華民国銀行公会（日本における全国銀行協会にあたる組織）との提携により、国内で唯一、台湾国内の銀行で発行されたキャッシュカードをそのまま日本国内でお買物の決済手段（デビットカード決済）としてご利用いただくことのできるサービスです。

また、道銀カードの親会社である北海道銀行では、新千歳空港や札幌市内等計4ヶ所のATMで、提携する台湾の15の銀行が発行するキャッシュカードで直接「日本円」を引き出せるサービスを展開しています。

#### （2）海外おみやげ宅配便

産学官で構成されるHOP推進協議会が構築した、海外向けの小口航空輸送サービスです。外国人観光客が旅行中に購入した冷凍・冷蔵のおみやげ品を、海外の自宅に配送することができます。

## (3) シーニックバイウエイ北海道

地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮した地域の魅力を道でつなぎながら景観づくり、地域づくり、魅力ある観光空間づくりなどを目指す取り組みで、ドライブ観光を推進しています。現在、12の指定ルート、2の候補ルートがあり、3月26日からシーニックバイウエイドライブマップ2016(定価200円)を道の駅と連携して販売しています。

## (4) 道の駅

24時間利用できる駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路利用者や地域の情報を提供する「情報発信機能」、道の駅を活かした活力ある地域づくりを行なうための「地域連携機能」、これら3つの機能を併せ持つ施設が道の駅です。3月26日から道の駅を巡る「スタンプラリー2016」を実施しています。

## (5) Hokkaido Expressway Pass

NEXC O東日本北海道支社の外国人旅行者向け高速道路定額乗り放題商品「ドラ割」は、レンタカー会社18社との提携により、ETC無線通信可能なレンタカーで2~14日間、定額で北海道内の高速道路が乗り放題となる割引商品です。

## 3. 目的

昨今、政府は「明日の日本を支える観光ビジョン」として、2020年に訪日外国人客を2倍の4000万人、旅行消費額を2倍の8兆円とする意欲的な目標を打ち出しております。道内における2014年度の国別訪日外国人客は、台湾が47万人とトップであり、大きなマーケットとなっています。

このような中、北海道新幹線が開通し、東北地域との広域観光の魅力が高まってきていることから、今回の企画で岩手銀行の参加により東北の魅力を伝えるプログラムも用意しています。

また、高速道路やシーニックバイウエイを利用してドライブを楽しむ、北海道新幹線や北海道エアシステムを利用して広い東北・北海道を気軽に楽しむといった2次交通へフォーカスした企画となっています。

加えて、台湾からの観光客に十分に認知されていない各種サービス、全道に渡る決済利用環境の充実、お土産の購入における利便性、道の駅の充実したサービス、農村民泊体験、道東での体験観光等、優れた旅行先や楽しみ方を提案することで、全道各地への個人旅行客の一段の拡大につなげたいと考えています。

なお、本件は平成28年度の「ビジット・ジャパン(VJ)地方連携事業」(国土交通省北海道運輸局)の予算を活用させていただいております。また、本件の旅行事業につきましては、近畿日本ツーリスト北海道が担当します。

以上

【お問い合わせ先】	担当者	連絡先
(株)北海道銀行 営業推進部 観光産業推進室	坂口	011-233-1271
経営企画部 広報CSR室	大海・西東	011-233-1005
道銀カード(株)	立林	011-241-1773
(株)岩手銀行 法人戦略部	佐藤	019-624-7011
(株)近畿日本ツーリスト北海道	小川	011-251-5731
北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課	藪田	011-709-2137
(株)北海道エアシステム	大田	011-769-0510
シーニックバイウエイ支援センター	伊藤・紺野	011-708-0429
NEXC O東日本北海道支社	広報課	011-896-5238
北海道地区「道の駅」連絡会	新井	011-736-8577